

安全 **で** **住** **み** **よ** **い**
 まちづくり
 ニュース
 防災交通課
 (内208)

防災への意識改革

34

集団災害合同研修会を 実施しました

二月二十五日、浅井外科（大字白沢）で「集団災害合同研修会」が実施されました。

知多郡医師会阿久比支部の医師、看護師、事務員の皆さん、阿久比町赤十字奉仕団、あいち防災リーダー、半田消防署阿久比支署など約百五十人が参加しました。



傷病者を運ぶ赤十字奉仕団



エアテント内での応急手当

訓練は鉄道の踏み切り付近で列車と自動車衝突して列車が脱線し、乗客に多くの負傷者が出たと想定。事故直後に消防署の救急隊が現場で一次トリアージを行い、病院に搬送された状態からスタートしました。顔や足から血を流すなどの外傷メイクをした傷病者役が、町内の医療機関から応援要請された医師・看護師が待つ病院駐車場に到着すると、医師らは二次トリアージを行い、重症者と軽症者に振り分け、応急手当

トリアージとは

多数の傷病者に対して緊急度・重症度に応じて、限られた医療資源を最大限に活用して、可能な限り多くの傷病者の治療に当たることです。
 トリアージ・タグを使い、黒、赤、黄、緑の四色で傷病状態を分け、今回の訓練では治療の優先順位をつけて搬送や治療に当たりました。

を行いました。

軽症者には赤十字奉仕団が半田消防署阿久比支署の設営したエアテント内で応急手当の訓練をしました。医師の的確な指示・指導や、外傷扮装メイクをした傷病者役の迫真の演技など、参加者は今回の訓練に真剣に取り組みました。



医師と看護師による応急手当

阿久比交番移転

阿久比交番が名鉄阿久比駅前に移転（三月六日）しました。

問い合わせ先
 ☎（21）01110（内516）



人形を使つての訓練

今後は、参加した関係機関と訓練の検証を重ね、災害時の医療救護の在り方について、より相互に連携した迅速な体制づくりを目指したいと考えています。